

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	文化振興課	職	課長	氏名	成瀬 英之
評価者	組織		職		氏名	

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	石川の優れた文化の継承・発展	音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数	人	113,500 (H29)	109,831 (H27)	(H28)	
施策2	文化に親しむ環境づくり	兼六園周辺文化施設入館者数	人	816,000 (H29)	895,525 (H27)	(H28)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題						課題に対する主な取り組み				評価			
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)							
施策1	課題	石川の優れた文化の継承と発展	美術館入館者数	人	467,500 (H29)	448,456 (H27)	(H28)	美術館展覧会費(企画展示費)	一般県民	20,763			
								前田育徳会尊経閣文庫分館魅力発信事業	一般県民	296			
			歴史博物館入館者数	人	112,000 (H29)	185,206 (H27)	(H28)	歴史博物館特別展示費	一般県民	27,805			
			石川四高記念文化交流館入館者数	人	173,100 (H29)	187,385 (H27)	(H28)	石川四高記念文化交流館事業費	一般県民	16,137			
			兼六園周辺文化施設入館者数	人	816,000 (H29)	895,525 (H27)	(H28)	文化財保存修復工房魅力発信事業費	一般県民	2,000			
								「いしかわ文化の日」「いしかわ文化推進期間」普及啓発事業費	一般県民	6,500			
								いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール推進事業費	小中学生	12,000			
			音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数	人	113,500 (H29)	109,831 (H27)	(H28)	伝統芸能技能向上支援事業費	一般県民	3,800			
								再 いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール推進事業費	小中学生	12,000			
			ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭参加団体数	団体	45 (H29)	44 (H27)	(H28)	ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭開催費	一般県民	2,300			
芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数	人	13,500 (H28)	12,235 (H27)	(H28)	文化活動支援事業費	一般県民	80,000						
					いしかわの能楽鑑賞事業費	一般県民	5,000						
いしかわミュージックアカデミー参加者数	人	4,000 (H28)	3,029 (H27)	(H28)	いしかわミュージックアカデミー開催費	一般県民	15,820						
施策2	課題	文化に親しむ環境づくり	兼六園周辺文化施設入館者数	人	816,000 (H29)	895,525 (H27)	(H28)	兼六園周辺文化の森「四季の文化回廊」事業費	一般県民	19,000			
								再 「いしかわ文化の日」「いしかわ文化推進期間」普及啓発事業費	一般県民	6,500			
								再 いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール推進事業費	小中学生	12,000			
			再 音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数	人	113,500 (H29)	109,831 (H27)	(H28)	再 いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール推進事業費	小中学生	12,000			
			再 ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭来場者数	人	100,000 (H28)	122,024 (H27)	(H28)	再 ラ・フォル・ジュルネ金沢開催費	一般県民	53,000			

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	文化振興課	職	課長	氏名	成瀬 英之
評価者	組織		職		氏名	

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	石川の優れた文化の継承・発展	音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数	人	113,500 (H29)	109,831 (H27)	(H28)	
施策2	文化に親しむ環境づくり	兼六園周辺文化施設入館者数	人	816,000 (H29)	895,525 (H27)	(H28)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題					課題に対する主な取り組み				評価				
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)							
		再 芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数	人	13,500 (H28)	12,235 (H27)	(H28)	子どものための音楽文化推進事業費	小学生	3,000				
							子ども芸術鑑賞推進事業費	小中学生	4,231				
							県民移動能実施事業費	小中学生	3,000				
							障害者のための文化芸術ふれあい推進事業費	一般県民	1,000				
							再 文化活動支援事業費	一般県民	80,000				
		音楽堂入場者数	人	265,000 (H29)	262,241 (H27)	(H28)	音楽堂自主事業費補助金	一般県民	15,000				
							地域文化振興推進事業費補助金	一般県民	10,000				
							再 子どものための音楽文化推進事業費	小学生	3,000				
		再 美術館入館者数	人	467,500 (H29)	448,456 (H27)	(H28)	再 美術館展覧会費(企画展示費)	一般県民	20,763				
		再 歴史博物館入館者数	人	112,000 (H29)	185,206 (H27)	(H28)	再 歴史博物館特別展示費	一般県民	27,805				
再 石川四高記念文化交流館入館者数	人	173,100 (H29)	187,385 (H27)	(H28)	再 石川四高記念文化交流館事業費	一般県民	16,137						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	美術館展覧会費(企画展示費)	事業開始年度	S58	事業終了予定年度		作成者	組 織	県立美術館	
		根拠法令 ・計画等					職・氏名	企画管理専門員 新保 勝也	
							電話番号	076 - 231 - 7580 内線 6510	

1 事業の目的
 美術に対する理解を深めるため、特定のテーマに基づく作品による企画展を開催し、優れた美術鑑賞の場を提供する。
 また、こうした場を提供しつつ、兼六園周辺文化の森に立地する特長を生かし、憩いの空間として県内外のお客様に広く親しまれる美術館となることを事業の目的とする。

2 事業の概要
 (1) 寄付受納記念「脇田和」展
 ① 会 期 : 平成28年4月24日～5月15日(会期 22日間)
 ② 内 容 : 現代日本洋画壇最高峰の一人で文化功労者の脇田和は、鳥や子供を題材に诗情豊かな作品を描き続けた。脇田和没後10年に際し、遺族より脇田が自己の代表作とセレクトした油彩、素描、版画作品317点の寄贈を当館は受けることとなった。脇田家は明治維新前は加賀藩祖以来藩士として前田家に仕えてきたこともあり、本県とのゆかりは深く、こうした縁が今回の一括寄贈につながった。本展はこうした受贈を記念して、初期から晩年までの代表作約120点を公開し、脇田芸術の軌跡をご覧いただくものである。

(2) 「近代美術の至宝」展
 ① 会 期 : 平成28年9月10日～10月23日(会期 44日間)
 ② 内 容 : 明治・大正・昭和・平成の各時代を代表する作家の名品により、明治より今日に至る150年の日本美術の歩みを辿る。
 文化勲章受章者、芸術院会員、人間国宝等の美術家による日本画・洋画・彫刻・工芸の名品約150点を展示し、個々の名品が持つ美の世界を堪能していただくとともに、近現代日本美術の歩みと、各時代を通じて滔滔と流れる日本美の本質に触れる事を目的とする。

(3) 「絵画にみる江戸のくらし」展
 ① 会 期 : 平成29年1月4日～2月12日(会期 40日間)
 ② 内 容 : 平成17年、故久世重勝氏の収集になる3016枚の寄贈を受けた浮世絵コレクション展覧会で、内容は、葛飾北斎・歌川広重・喜多川歌麿・歌川国貞・歌川国芳ら人気作家を網羅した、風景画から美人画、役者絵など多岐にわたるものである。10年ぶりの公開となる今回は、浮世絵の展示にとどまらず、そこに描かれた四季の移ろいと人々の暮らし、旅と景色、相撲に歌舞伎会といった江戸時代の風俗・娯楽も紹介する展覧会とする。

施策・課題の状況					
施策	石川の優れた文化の継承・発展				評価
課題	石川の優れた文化の継承・発展				
施策	文化に親しむ環境づくり				評価
課題	文化に親しむ環境づくり				
指標	美術館入館者数	単位	人		
目標値	現状値				
平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
467,500	408,642	511,440	409,127	448,456	

事業費						
(単位:千円)		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	19,949	31,528	17,316	56,354	20,763
	決算	20,189	31,140	16,254	52,712	
一般財源	予算	6,468	6,144	6,144	7,344	5,063
	決算	8,035	3,126	7,668	22,923	
事業費累計		19,949	51,477	68,793	125,147	145,910

評価	
項目	左記の評価理由
これまでの有効性	
今後の必要性	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	前田育徳会尊経閣文庫分館魅力発信事業	事業開始年度	H21	事業終了予定年度	-	作 組 織	美術館
		根拠法令 ・計画等				成 職・氏名	専門員 新保勝也
						者 電話番号	076 - 231 - 7580 内線 6510

事業の背景・目的
美術館リニューアルオープンに併せ、「尊経閣文庫分館」が開設されたことを受け、前田育徳会尊経閣文庫の所蔵品の素晴らしさを県民に紹介するためのPR事業を積極的に展開し、「尊経閣文庫分館」の周知と観覧者の増加を図る。

事業の概要
1 文化講座の開催

前田育徳会尊経閣文庫の所蔵品収集に力を注いだ加賀藩歴代藩主の姿を、前田家に関わる人及び他の大名家との比較を通して、深めていく連続講座として開催する。

開催回数 年3回

講 師 歴史家、郷土史家等の著名人(予定)

講座概要

第1回 金沢城の絵図	講師 石川県金沢城調査研究所	石野 友康 氏
第2回 加賀藩江戸本郷邸について	講師 東京大学埋蔵文化財調査室	小松 愛子 氏
第3回 加賀藩の女性達	講師 石川郷土史学会幹事	横山 方子 氏

会 場 石川県立美術館ホール

対 象 者 一 般

定 員 各回200人

特 典 講座参加者は、講座当日の常設展観覧料は無料

2 尊経閣文庫のパンフレット作成

前田育徳会尊経閣文庫の文化財等所蔵品の素晴らしさを県民に紹介するため、PR用パンフレットを作成する。

これまでの見直し状況

施策・課題の状況					
施策	石川の優れた文化の継承・発展				評価
課題	石川の優れた文化の継承・発展				
指標	美術館入館者数			単位	人
目標値	現状値				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	467,500	408,642	511,440	409,127	448,456
事業費					
(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 予算	750	639	462	370	296
事業費 決算	749	594	462	370	
一般 予算	750	639	462	370	296
財源 決算	749	594	462	370	
事業費累計	5,750	6,389	6,851	7,221	7,517
評価					
項目	評価	左記の評価の理由			
これまでの有効性					
今後の必要性					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 歴史博物館特別展示費	事業開始年度	S 62	事業終了予定年度	
	根拠法令			
	・計画等			

作	組	織	歴史博物館		
成	職	氏名	総務課担当課長 皆戸 靖彦		
者	電話番号	076 - 262 - 3236 内線 6511			

事業の背景・目的
 常設展とは別に独自のテーマにスポットをあて、考古・歴史・民俗等の貴重な資料を基に特別企画による展示を行い県民等が歴史に親しみ、さらに認識を深める一助となるよう郷土の歴史の展示公開を通して歴史の一端を紹介する。

1 特別展

(1) 春季特別展 (事業費:9,281千円)

テーマ:「加賀・能登王墓の世界」

時期:平成28年4月16日(土)～5月22日(日) 37日間

主旨:石川県の古代には、津幡町加茂遺跡から出土した「加賀郡勝示札」に記された道君のように、有力な地方豪族が割拠し、加賀国や能登国が成立する社会的基盤を形作ってきた。この展覧会では、県内の古墳から出土した豪華な副葬品など、豪族たちの活動の様子を物語る資料を展示し、統一国家ができあがった時代にあっても、地方色豊かな古代文化が花開いた加賀・能登の国の始まりを紹介する。

(2) 夏季特別展 (事業費:6,025千円)

テーマ:「セラミックス・ジャパン -陶磁器でたどる日本のモダン-」

時期:平成28年7月23日(土)～8月28日(日) 37日間

主旨:近代日本において、陶磁器製造は数少ない世界に誇りえる品質とデザインを備えていた。ジャポニスムに迎えられて世界市場に打って出て以来、不断に自ら新しい進路を切り開いてきた。本展では、「クールジャパン」の原点ともいえる近代の陶磁器産業の歩みを紹介する。陶磁器の展覧会のほとんどが、古美術品展や茶器展のような美術鑑賞を目的としたものでしめられる中今回の展示は、近代日本における陶磁器造りの歴史を包括的に紹介する国内初の企画となる。陶磁器産業に深くかかわる石川・岐阜・兵庫・東京計4館による共同企画。

(3) 秋季特別展 (事業費:12,499千円)

テーマ:「城下町金沢は大にぎわい！」

時期:平成28年9月17日(土)～11月6日(日) 51日間

主旨:本展覧会では、城下町金沢に関する最新の研究成果を紹介するとともに、これまであまりスポットが当てられてこなかった城下町金沢の娯楽文化を紹介する。金沢の人々が楽しみとした寺社の御開帳や祭礼、歌舞伎に代表される芸能などを、実物資料・空間再現・アトラクションなどを通して体験してもらう体感型展覧会となる。また会期中、ハレの楽しみを味わえるさまざまな大衆芸能も公演する。

2 大型巡回展

(1) 北國新聞社主催「日本画逍遥展」

期間:6月1日(水)～7月3日(日) 33日間

内容:北海道立近代美術館名品選(横山大観・下村観山など)

施策・課題の状況						
施策	石川の優れた文化の継承・発展	評価				
課題	石川の優れた文化の継承・発展					
施策	文化に親しむ環境づくり	評価				
課題	文化に親しむ環境づくり					
	指標	歴史博物館入館者数	単位	人		
	目標値		現状値			
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	112,000	72,388	-	-	185,206	

事業費						
(単位:千円)		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	5,180	0	4,637	39,307	27,805
	決算	6,054		2,470	39,113	
一般	予算	1,533	0	4,637	19,468	9,473
	決算	994		2,470	19,220	
事業費累計		189,810	189,810	192,280	231,393	259,198

評価	
項目	評価
事業の有効性	左記の評価の理由
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	
今後の方向性	
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 石川四高記念文化交流館事業費	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等			

作	組	織	石川四高記念文化交流館		
成	職	氏名	専門員 橋本 秀幸		
者	電	話	番	号	076 - 262 - 5464

事業の背景・目的

石川四高記念文化交流館は、四高の歴史と伝統を伝える展示に加え、旧四高の教室を多目的に利用できる「石川四高記念館」と石川県ゆかりの文学者の資料を展示する「石川近代文学館」によって構成され、兼六園周辺文化の森の新しい「学びとふれあいの複合文化スペース」として平成20年4月に開館した。これらの施設を多くの方々にご利用していただくため、企画展示やイベント等を実施する。

事業の概要

- 1 石川四高記念館
 - ・施設の概要
 - 四高と四高生を育んだ風土と時代を知るための展示
 - 旧四高教室を学習や発表の場として利用できる多目的利用室(有料)の設置
 - ・主な事業
 - 常設展示(4室)
 - 企画展の実施
 - 「四高柔道部に見る肉体派の『超然主義』」
 - 小中学校絵画展
 - 三文豪館とのスタンプラリー
 - 講座の開催(フレッシュ新三々塾 年4回) など

- 2 石川近代文学館
 - ・施設の概要
 - 石川県ゆかりの文学者の著書・原稿・愛蔵品等を一堂に集めた総合文学館(公益財団法人石川近代文学館へ事業を委託)
 - ・主な事業
 - 常設展示(8室)
 - 企画展の実施
 - 「作家といきもの」 (4/23～8/21)
 - 徳田秋声は猫を、室生犀星は犬と猫を飼っていたなど、動物を飼っていた石川ゆかりの作家は少なくなく、作家と犬や猫との関わりを中心に、動物を題材とした文学作品などを紹介し、作家を身近に感じていただく。
 - 「作家と山山ー日本文学百名山ー」 (9/17～11/27)
 - 日本の文学は、古くから、神々の住まう場所としての「山」を多くの作品に取り入れてきた。本年は、「山の日」が設けられる年でもあり、日本人の心と切っても切れない「山」の文学を紹介する。
 - 「作家と石川近代文学館ー文学館を支えた人たち」 (1/7～3/18)
 - 文学館の開館から四高本館への移転開館の頃までを、開館時に尽力いただいた作家や新たに展示作家に加わっていただいた方々の文学資料を紹介する形で、開館以来47年にわたる文学館の歩みを振り返る。
 - ワークショップ、イベント(朗読会、文学講座、研究会など)の実施

施策・課題の状況

施策	石川の優れた文化の継承・発展	評価			
課題	石川の優れた文化の継承・発展				
施策	文化に親しむ環境づくり	評価			
課題	文化に親しむ環境づくり				
指標	石川四高記念文化交流館入館者数	単位 人			
目標値	現状値				
平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
173,100	134,003	144,221	167,912	187,385	

事業費

	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	15,754	15,289	16,137	16,137	16,137
	決算	15,511	15,133	15,550	12,633	
一般	予算	12,354	12,455	12,517	12,517	12,517
	決算	12,851	13,128	13,455	8,440	
事業費累計		76,239	91,372	106,922	119,555	135,692

評価

	項目	評価	左記の評価の理由
	事業の有効性		(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)
	今後の方向性		(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	文化財保存修復工房魅力発信事業	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	-	作 組 織	文化振興課
		根拠法令 ・計画等				成 職・氏名	主事 越坂 裕太
						者 電話番号	076 - 225 - 1371 内線 3854

事業の背景・目的
 文化財保存修復工房リニューアルオープンに併せ、新たに整備された「ガイダンス室」や「見学スペース」を活用しながら、誘客を促進し、県民や観光客など多くの方々に、文化財の保存修復の大切さやいしかわの修復技術の高さを知っていただくための事業を実施する。

事業の概要

① 工房や広坂別館での体験イベント等の充実
 ※四季折々に開催するミュージアムウィーク期間中に実施
 (具体例)
 ・修復工房特別ガイドツアー【春・秋】
 ・子ども修復体験事業【夏】
 ・修復文化財の特別展覧会、講演会【冬】
 ・ミュージアムコンサート【春】や茶会【冬】

② 周辺文化施設等と連携した取組み
 (具体例)
 ・修復文化財の特別展示、鑑賞会(歴史博物館)
 ・歴史博物館、四高記念文化交流館などの周辺施設において、修復工房の紹介や解説のパネル等を展示
 ・大学との連携

③ 来館者の増加に向けたPR
 (具体例)
 ・誘導案内標識の整備
 ・利用促進に向けたPR、情報発信の強化

施策・課題の状況						
施策	石川の優れた文化の継承・発展					評価
課題	石川の優れた文化の継承・発展					
	指標	兼六園周辺文化施設入館者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	816,000	673,840	712,928	629,163	895,525	
事業費						
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算					2,000
	決算					
一般	予算					2,000
	決算					
事業費累計						2,000
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性						
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	「いしかわ文化の日」「いしかわ文化推進期間」 普及事業費	事業開始年度	H27	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	いしかわ文化振興条例		

作	組	織	文化振興課		
成	職	氏名	主事 酒井 玲奈		
者	電話番号	076 - 225 - 1371 内線 3845			

事業の背景・目的

県民の文化意識の向上を図るため、「いしかわ文化の日」及び「いしかわ文化推進期間」の期間中、各種イベントの集中実施及び各施設・市町と連携した一体的なPRにより、より多くの県民が文化に親しむことのできる機会を創出し、文化施設のさらなる利用促進と県民の文化意識の向上を図る。

事業内容

(1) 「いしかわ文化の日」普及事業

ア いしかわ文化の日記念イベントの開催

- ・ 会場：音楽堂邦楽ホール
- ・ 内容：①知事挨拶
(予定) ②オープニング公演
③記念講演 など

イ 文化施設の県民入場無料の普及・啓発

- ・ 県内文化施設の当日県民入場無料化
- ・ 啓発チラシの作成、配布

(2) 「いしかわ文化推進期間」普及事業

ア 金沢・加賀・能登の周遊を促すスタンプラリーの実施

- ・ 県内文化施設来場者を対象としたスタンプラリーを実施
- ・ 複数の文化施設来場者に景品を交付

イ 協賛事業イベントガイドの作成

- ・ 期間中に実施される県内の文化イベント情報を取りまとめた冊子の作成、配布
- ・ 文化施設、観光施設、商業施設等に設置

ウ 協賛事業を一体的にPRするロゴマークの作成

- ・ 一般公募により作成
- ・ イベントガイドの他、各種イベントパンフレット等に活用

施策・課題の状況					
施策	石川の優れた文化の継承・発展				評価
課題	石川の優れた文化の継承・発展				
施策	文化に親しむ環境づくり				評価
課題	文化に親しむ環境づくり				
	指標	兼六園周辺文化施設入館者数			単位
	目標値	現状値			人
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	816,000	673,840	712,928	629,163	895,525
事業費					
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費	予算				6,500
	決算				
一般	予算				6,500
財源	決算				
事業費累計		0	0	0	6,500
評価					
	項目	評価	左記の評価の理由		
	事業の有効性		(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
	今後の方向性		(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール推進事業費	事業開始年度	H27	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等			

作成者	組織	文化振興課			
	職・氏名	主任主事 金田 直樹			
	電話番号	076 - 225 - 1371 内線 3851			

事業の背景・目的

文化振興条例施行元年である平成27年度には、次代の文化の担い手となる小中学生を対象に、実際に石川の豊かな伝統芸能に触れる機会を創出し、これまで以上に本県の伝統芸能に対する関心が高まった。条例施行2年目となる本年は、これまで実施してきた伝統芸能文化に加え、美術・音楽・伝統芸能・伝統工芸など幅広い分野で、次代を担う子どもたちに対し、多彩な文化体験メニューを提供する。

事業の概要

平成28年度事業展開	
ポイント	
(1) いしかわ文化振興条例に謳う、本県の優れた分野を網羅する形で、子どもの文化体験事業を拡充 (2) 「兼六園周辺文化の森」を「子どもの文化体験のメッカ」と位置づけ、ミュージアムウィーク時期を中心に実施 (3) 文化体験事業のプログラム化により、体験講座を一覧として提示し、参加実績に応じて特典を付与し、インセンティブを与える	
事業概要	
<p>(1) 主な文化体験チャレンジプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 美術・歴史・文学等 <ul style="list-style-type: none"> ・地元芸術家・学芸員等の指導により多彩な芸術への理解を深める 絵画・彫刻等の体験教室 など ● 音楽文化 <ul style="list-style-type: none"> ・地元音楽家を講師とした楽器演奏体験教室 など ● 藩政期以来培われてきた伝統芸能 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもいしかわ伝統芸能体験教室(能楽、日本舞踊、箏などの体験教室) など ● 伝統工芸 <ul style="list-style-type: none"> ・工芸王国石川が誇る伝統工芸の技術を伝統工芸士等から学ぶ蒔絵、竹細工などの体験教室 など ● 食文化 <ul style="list-style-type: none"> ・地域で受け継がれてきた伝統的な食文化を郷土料理研究家等から学ぶ祭り寿司、和菓子作り等の体験教室 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活文化 <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしに根ざした生活文化や古からの娯楽文化を郷土歴史家・先生から学ぶ茶道や、着物の着付け など ● 文化財保護 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の修復作業体験教室(学習+虫喰いの繕い等の作業体験) など <p>(2) いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール ～進め！出世街道～</p> <p>文化体験の参加実績により、スタンプを押し、それを一定数集める事により、称号と記念品を付与する。</p> <p><称号> ①足軽(スタンプ1個) ②侍大将(スタンプ4個) ③文化家老(スタンプ8個) ④文化大名(スタンプ12個) ⑤いしかわ文化将軍(スタンプ16個)</p> <p><景品> 伝統工芸品やミュージアムグッズ等</p>

※実施期間
年間を通じて開催する。

これまでの見直し状況

平成27年度に行った「いしかわ子ども伝統芸能チャレンジ推進事業」で実施した伝統芸能体験に加え、音楽や伝統工芸などの100を超える多彩な文化体験を提供することとした。

施策・課題の状況					
施策	石川の優れた文化の継承・発展				評価
課題	石川の優れた文化の継承・発展				
施策	文化に親しむ環境づくり				評価
課題	文化に親しむ環境づくり				
指標	兼六園周辺文化施設入館者数			単位	人
目標値	現状値				
平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
816,000	673,840	712,928	629,163	895,525	
指標	音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数			単位	人
目標値	現状値				
平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
113,500	108,960	111,144	94,229	109,831	
事業費					
(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算			5,000	12,000
	決算			1,810	
一般	予算			0	12,000
財源	決算			0	
事業費累計		0	0	1,810	13,810

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	左記の評価の理由
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	伝統芸能技能向上支援事業	事業開始年度	H25	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等			

作	組	織	文化振興課		
成	職	氏名	主任主事 杉森 蓉子		
者	電	話	番	号	
			076	-	225 - 1372 内線 3848

事業の背景・目的
 藩政期から受け継がれてきた本県が誇る財産であり、魅力でもある金沢芸妓による質の高い伝統芸能について、芸の披露の場を創出することにより、県民や観光客が気軽に鑑賞する機会の充実を図るとともに、金沢芸妓の技能の向上と継承を図る。

事業の概要

- 芸の発表の場の創出
 - (1) 事業名
金沢芸妓の舞
 - (2) 事業内容
県民や観光客に、金沢芸妓による芸(踊り、太鼓、お座敷遊びなど)を披露する。
 - ①会場
県立音楽堂邦楽ホール和室
 - ②実施期間等
平成28年10月～平成29年3月の実施期間内に年27回開催(3茶屋街×9回)
 - ③開催時間
午後2時～3時(1時間程度)
 - ④出演
ひがし、にし、主計町の各茶屋街の芸妓
 - ⑤対象者
県民や県外からの観光客(各回定員50名程度)

これまでの見直し状況

施策・課題の状況					
施策	石川の優れた文化の継承・発展				評価
課題	石川の優れた文化の継承・発展				
	指標	音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数		単位	人
	目標値	現状値			
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	113,500	108,960	111,144	94,229	109,831

事業費						
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算		3,000	3,000	3,500	3,800
	決算		3,000	3,000	3,500	
一般財源	予算		3,000	3,000	0	0
	決算		3,000	3,000	0	
事業費累計		0	3,000	6,000	9,500	13,300

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	左記の評価の理由
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭開催準備費	事業開始年度	H10	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等			

作	組	織	文化振興課		
成	職	氏名	主事 坪川 拓実		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1372 内線 3848

事業の背景・目的

県民の文化理解の向上を促進するとともに、本県の質の高い文化を県の内外に発信する。これにより、県民が郷土に誇りを持ち、文化活動を通じ、活力ある地域づくりに自発的、積極的に参画する機運を醸成する。

- 事業の概要**
- 1 実施主体 2017ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭開催準備委員会、石川県、(一財)石川県芸術文化協会
 - 2 実施時期 平成29年秋
 - 3 会場 県下一円(県立音楽堂、赤羽ホールを中心とする公共ホール)
 - 4 事業内容
 - (1) 芸術祭の中心となる音楽公演
 - (2) 本県ゆかりの芸能等公演
 - (3) 芸術文化団体による公演
 - (4) 協賛事業(芸術祭の趣旨に賛同する会期中の市町村、公共ホール自主事業、ただし財政的な支援はなし)
 - 5 参加団体数 約45団体
 - 6 事業費 負担金2,300千円
(交付先:2017ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭開催準備委員会)

施策・課題の状況						
施策	石川の優れた文化の継承・発展					評価
課題	石川の優れた文化の継承・発展					
	指標	ビエンナーレいしかわ参加団体者数			単位	団体
	目標値	現状値				
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	45	準備年度	45	準備年度	44	準備年度

事業費						
(単位:千円)		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	2,300	54,000	2,300	54,000	2,300
	決算	2,300	54,000	2,300	54,000	2,300
一般	予算	2,300	54,000	2,300	54,000	2,300
	決算	2,300	54,000	2,300	54,000	2,300
事業費累計		396,400	450,400	452,700	506,700	509,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 文化活動支援事業費	事業開始年度 H27	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	いしかわ文化振興条例

作 組 織	文化振興課
成 職・氏名	主任主事 高川 和也
者 電話番号	076 - 225 - 1371 内線 3844

事業の背景・目的
 県内の文化団体が新たに実施する文化活動に対して助成金を交付することにより、文化の担い手である県民の自主的・主体的な文化活動を支援し、本県の優れた文化の更なる向上と裾野の拡大を図る。

事業の概要

事業名	文化活動支援事業	
	文化創造普及事業	地域文化活性化事業
対象事業	県全域を対象として文化活動を行う文化団体が実施する事業(新規性のあるものに限る)	市町において文化活動を行う文化団体が実施する事業(新規性のあるものに限る)
助成対象期間	最大3年間(初年度に事業認定)	
	初年度に助成金を一括交付	助成金は毎年度交付
助成率	最大で全体事業費の1/2	
	※次の①②のいずれか小さい額の範囲内かつ助成限度額の範囲内 ① 助成対象経費 × 1/2 ② 事業費 - 事業収入(入場料収入等)	
助成限度額	団体自己負担の1/2以上を地元市町が補助	
	最大 300万円(3年間) (1年間事業 10~100万円 2年間事業 20~200万円 3年間事業 30~300万円)	最大150万円(3年間) (毎年度 5~50万円)
申請方法	基金へ直接申請	市町を経由して申請
審査方法	民間有識者等による選考委員会において審査	

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	石川の優れた文化の継承・発展				評価	
課題	石川の優れた文化の継承・発展					
施策	文化に親しむ環境づくり				評価	
課題	文化に親しむ環境づくり					
指標	芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数				単位 人	
目標値	現状値					
	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	13,500	12,679	11,609	13,200	12,235	

事業費					
(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 予算				80,000	80,000
事業費 決算				61,276	
一般 予算				0	0
財源 決算				0	
事業費累計		0	0	61,276	141,276

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	左記の評価の理由
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわの能楽鑑賞事業費	事業開始年度	H3	事業終了予定年度	
	根拠法令			
	・計画等			

作組	織	文化振興課
成職	氏名	専門員 橋岡 千春
者	電話番号	076 - 225 - 1372 内線 3847

事業の背景・目的
 定期的に能楽を上演、鑑賞する機会を設けることにより、能楽愛好者の増加と能楽楽師の技術向上の契機とし、もって本県の文化振興を図る。

事業の概要

内 容 「観能の夕べ」上演 能と狂言を各1番
 ①「夏の観能の夕べ」
 日 時 平成28年7月2日～8月27日 毎週土曜日
 午後6時30分～午後8時30分
 全9回(特別公演1回、一般公演8回)
 ②「冬の観能の夕べ」
 平成29年1月～3月の期間中 全5回(土曜日)
 午後2時30分～午後4時30分

会 場 石川県立能楽堂
 主 催 いしかわの能楽鑑賞事業実行委員会
 対 象 一般
 入 場 料 ①「夏の観能の夕べ」
 特別公演 3,000円/回
 一般公演 1,000円/回
 ②「冬の観能の夕べ」
 前売り 1,000円/回
 当日 1,200円/回

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	石川の優れた文化の継承・発展				評価	
課題	石川の優れた文化の継承・発展					
	指標	芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	13,500	12,679	11,609	13,200	12,235	
事業費						
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成27年度
事業費	予算	3,500	3,500	3,500	5,000	5,000
	決算	3,500	2,994	2,280	6,200	
一般	予算	3,500	3,500	2,280	0	0
	決算	3,500	2,994	3,500	0	
事業費累計		64,851	67,845	70,125	76,325	81,325
評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)					
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわミュージックアカデミー開催事業費	事業開始年度 H10	事業終了予定年度	作 組 織 文化振興課
	根拠法令・計画等		成 職・氏名 専門員 乾 康祐 者 電話番号 076 - 225 - 1372 内線 3850

事業の背景・目的
国内外の著名な講師による高いレベルのレッスンをを行い、世界に通用する若手音楽家の育成と石川の音楽文化の振興を図る。

- 事業の概要**
- 1 事業名 2016いしかわミュージックアカデミー
 - 2 期 間 平成28年8月17日(水)～26日(金) 10日間
 - 3 会 場 石川県立音楽堂、石川県青少年総合研修センター ほか
 - 4 主 催 いしかわミュージックアカデミー実行委員会 会長(石川県知事)谷本正憲
 - 5 内 容
 - (1) スクール部門
 - ① マスタークラス:プロを目指す若い音楽家を対象
ヴァイオリン55人、チェロ9人、ピアノ18人
 - ② 基礎クラス:地元で音楽を学ぶ人達を対象
ヴァイオリン5人、ピアノ13人
 - ③ 受講生ソロ発表会(マスタークラス受講生)
 - (2) コンサート部門
 - ① IMAチェンバーコンサート
:アカデミー講師による室内楽コンサート(県立音楽堂)
 - ② IMAライジングスターコンサート
:IMA音楽賞受賞者及び世界的コンクール入賞者などによるコンサート (県立音楽堂)
 - ③ ミニコンサート
:受講生が県内各地を訪問して行うコンサート(県内各地の特別支援学校、福祉施設等)
 - (3) 県内若手音楽家育成事業
 - ① 基礎クラス優秀者に対する特別レッスンの開催(IMA開催後に実施)
 - ② IMA講師による無料体験レッスンの開催
 - (4) フェローシップ制度
優秀な受講生にIMA音楽賞を授与し、次年度のアカデミーに奨学生として招聘する。

施策・課題の状況						
施策課題	石川の優れた文化の継承・発展	評価				
	石川の優れた文化の継承・発展					
	指標	いしかわミュージックアカデミー参加者数		単位	人	
	目標値	現状値				
	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	4,000	4,984	3,480	4,550	3,029	

事業費						
(単位:千円)		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費	予算	14,420	14,420	14,420	15,920	15,820
	決算	14,420	14,420	14,420	15,920	15,820
一般	予算	14,420	14,420	14,420	14,420	15,820
財源	決算	14,420	14,420	14,420	14,420	
事業費累計		402,995	417,415	431,835	447,755	463,575

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 兼六園周辺文化の森「四季の文化回廊」事業費	事業開始年度	H17	事業終了予定年度	
	根拠法令			
	・計画等			

作	組	織	文化振興課		
成	職	氏名	主幹 山川 恵子		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1371 内線 3853

事業の背景・目的
北陸新幹線の金沢開業と文化振興条例の制定を大きな契機ととらえ、首都圏をはじめ県内外の方々に藩政期より培われた本県が誇る質の高い伝統文化に触れてもらうため、四季折々に兼六園周辺文化の森で各施設の特長を活かしたイベントを開催する。

- 事業の概要**
- 1 兼六園周辺文化の森「四季の文化回廊」事業の実施
 - (1) ミュージアムウィークの開催
 交付先: 兼六園周辺文化の森活性化推進実行委員会
 - ① 春季
 時期: 4月29日(金)～5月5日(木・振)(GW期間中)
 内容: いしかわ赤レンガミュージアムリニューアルオープン1周年記念事業、特別講演会など
 - ② 夏季
 時期: 8月5日(金)～21日(日)
 内容: デジタル掛け軸、ナイトコンサートなど
 - ③ 秋季
 時期: 10月16日(日)「いしかわ文化の日」～11月3日(木・祝)「いしかわ文化推進期間」
 内容: 伝統芸能に関する講演会と実演、スイーツ体験会など
 - ④ 冬季
 時期: 平成29年1月下旬～2月上旬
 内容: 食文化の歴史に関する講演会、食に関する映画上映会など
 - (2) 石川県・金沢市文化施設共通鑑賞パスポートの期間限定販売
 対象施設: 県5施設(美術館、歴史博物館、四高記念館、からくり記念館、銭屋五兵衛記念館) 市16施設(中村記念美術館、能楽美術館、鈴木大拙館など)

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	文化に親しむ環境づくり				評価	
課題	文化に親しむ環境づくり					
	指標	兼六園周辺文化施設入館者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	816,000	673,840	712,928	629,163	895,525	

事業費					
(単位: 千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成28年度
事業費 予算	9,500	8,400	13,000	18,000	19,000
事業費 決算	9,500	8,400	13,000	25,644	
一般 予算	9,500	8,400	13,000	0	19,000
財源 決算	9,500	8,400	13,000	0	
事業費累計	57,532	65,932	78,932	104,576	123,576

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	○	
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	○	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ラ・フォル・ジュルネ金沢開催事業費	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等			

作	組	織	文化振興課		
成	職	氏名	主事 菅谷内 梓		
者	電話番号	076 - 225 - 1372 内線 3850			

事業の背景・目的

フランス発祥のクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」は、2008年から金沢でも開催され、8年目となった2015年は、新幹線金沢開業後初の開催であり、全国から12万人以上の観客を集め、音楽愛好家の拡大だけでなく、交流人口の拡大や石川の音楽文化の発信といった面でも着実に成果をあげてきている。

今後も、本県の特長を生かした魅力ある公演を創意工夫し、この音楽祭を発展させていく必要があり、2016年も街なかや加賀・能登地域での公演の充実を図りながら、更に交流人口の拡大や地域の活性化につながる音楽祭として発展させていきたい。

- 事業の概要**
- 1 事業名: ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭2016
 - 2 開催時期: 平成28年4月28日(木)～5月5日(木祝) 8日間 ※4月上旬よりプレ公演を開催
 - 3 会場: 金沢市内(金沢駅周辺、金沢市中心部等)、加賀・能登地区、富山県内、福井県内
 - 4 テーマ: 「ナチュラル-“自然と音楽”」
 - 5 内容: オーケストラ公演、合唱、室内楽、吹奏楽公演 ほか 174公演 (うち有料 70公演)
 - 6 主な出演者:
 (国内) オーケストラ・アンサンブル金沢、北陸三県をはじめとする全国の演奏団体 ほか
 (海外) プチヨン・フィルハーモニック・オーケストラ(韓国)、バボラーク・アンサンブル(チェコ)ほか
 - 7 来場者目標: 100,000人
 ※2015年:122,024人 2014年:105,820人 2013年:103,322人 2012年:104,771人
 2011年:118,355人 2010年:108,916人 2009年:93,178人 2008年:83,830人
 - 8 入場料: 500円～4,500円(低料金で設定)
 - 9 総事業費: 160,000千円
 - 10 他の開催地: 東京(5/3～5)、新潟(4/28～30)、びわ湖(4/29～5/1)

施策・課題の状況						
施策	文化に親しむ環境づくり				評価	
課題	文化に親しむ環境づくり					
	指標	ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭来場者数		単位	人	
	目標値	現状値				
	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	100,000	104,771	103,322	105,820	122,024	

事業費						
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	17,976	43,000	43,000	53,000	53,000
	決算	17,976	43,000	40,000	63,000	
一般	予算	17,976	13,000	13,000	23,000	13,000
	決算	17,976	13,000	13,000	23,000	
財源	決算	17,976	13,000	13,000	23,000	
事業費累計		45,976	88,976	128,976	191,976	244,976

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	左記の評価の理由
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 子どものための音楽文化推進事業	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	
	根拠法令			
	計画等			

作 組 織	文化振興課			
成 職・氏名	専門員 乾 康祐			
者 電話番号	076 - 225 - 1372 内線 3850			

事業の背景・目的
 子どもを対象に、音楽(クラシック音楽・邦楽)に親んでもらう機会を提供し、音楽を嗜む新たな県民の掘り起こしを図ると共に、県立音楽堂の入場者数及び利用率の増加に繋げる。

事業の概要

1 洋楽・邦楽リーフレットの作成・配布

(1) 目的
 子ども(小学生)や洋楽・邦楽に無関心な層を対象とした手引書を作成・配布し、音楽文化に親しむ県民の裾野拡大を図る。

(2) 内容
 ・洋楽・邦楽とは?(歴史、楽器、編成等) ・代表的な作曲家とその代表曲
 ・鑑賞マナー ・音楽堂、オーケストラ・アンサンブル金沢の紹介 など

(3) 作成部数
 各20,000部

(4) 配布先
 県内小学生(6年生)、各市町、各種イベント(子どもいしかわ伝統芸能体験教室等)、音楽教室等

2 はじめてのコンサート開催(音楽文化振興事業団への基金補助金)

(1) 目的
 既存の音楽堂コンサートを初心者向けのコンサートに仕立て、子どもや親子連れに、実際に足を運んでもらう。

(2) 特徴
 ・リーフレット等を活用した丁寧なMC解説(楽器の紹介、鑑賞マナーなど)
 ・楽器体験コーナーの設置(開演前)

(3) 出演
 MC(青島広志など)、オーケストラ・アンサンブル金沢、石川県ジュニアオーケストラ、いしかわ子ども邦楽アンサンブルほか

(4) 備考
 コンサート開催費6,000千円に対し、基金から1,000千円を補助
 ※基金補助対象・・・初心者向けコンサートに係るMC費用

施策・課題の状況					
施策課題	文化に親しむ環境づくり				評価
	文化に親しむ環境づくり				
	指標	芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数			単位
					人
	目標値	現状値			
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	13,500	12,679	11,609	13,200	12,235
	指標	音楽堂入場者数			単位
					人
	目標値	現状値			
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	265,000	265,158	250,272	206,473	262,241

事業費						
(単位:千円)		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算					3,000
	決算					
一般財源	予算					0
	決算					
事業費累計			0	0	0	3,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 子ども芸術鑑賞推進事業費	事業開始年度 S57	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等	

作	組	織	文化振興課
成	職	氏名	主任主事 杉森 蓉子
者	電話番号	076 - 225 - 1372 内線 3848	

事業の背景・目的

子供たちに優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し芸術文化の振興を図るとともに、舞台芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操を育む。

事業の概要

県内市町で下記の事業を実施する。

- 1 児童・生徒オーケストラ鑑賞教室
(公財)石川県音楽文化振興事業団(OEK)に委託 県内で5公演を実施
- 2 スクールシアター(児童演劇公演)
(公社)日本児童青少年演劇協会に委託 県内で9公演を実施
- 3 古典芸能鑑賞教室
「越後獅子」班 (杵屋弥三辰社中、田中杉芙勢社中、藤間勘菊社中)
「春の海」班 (釣谷雅楽房社中、前川晴笙中、藤間勘寿々社中)
この2班で県内6公演を実施

これまでの見直し状況

施策・課題の状況					
施策	文化に親しむ環境づくり				評価
課題	文化に親しむ環境づくり				
	指標	芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数			単位
	目標値	現状値			
	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	13,500	12,679	11,609	13,200	12,235

事業費					
(単位:千円)					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	4,231	4,231	4,231	4,231	4,231
予算	4,231	4,165	4,209	4,187	4,231
決算	4,187	4,165	4,209	4,187	4,231
一般	4,231	4,231	4,231	0	0
財源	4,187	4,165	4,209	0	0
決算	4,187	4,165	4,209	0	0
事業費累計	284,968	289,133	293,342	297,529	301,760

評価	
項目	評価
左記の評価の理由	
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	県民移動能実施事業費	事業開始年度	H2	事業終了予定年度	
		根拠法令			
		・計画等			

作	組	織	文化振興課		
成	職	・氏名	専門員 橋岡 千春		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1372 内線 3847

事業の背景・目的
鑑賞機会が少ない地域に能楽師が出向き、児童・生徒等に生の舞台芸術にふれる機会を提供することにより、能楽愛好者の増加を図る。

事業の概要
県内市町にて2公演(1公演/1市町)下記事業を実施する。

内容
仕舞、舞囃子、狂言1番、能1番
開催市町の児童・生徒によるワークショップ

公演日、会場
①6月6日(月) 能登町立能都中学校第一体育館
②6月28日(火) 野々市市立館野小学校体育館

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	文化に親しむ環境づくり					評価
課題	文化に親しむ環境づくり					
	指標	芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	13,500	12,679	11,609	13,200	12,235	
事業費						
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	決算	3,000	3,000	3,000	3,000	
一般財源	予算	0	0	0	0	0
	決算	0	0	0	0	
事業費累計		69,000	72,000	75,000	78,000	81,000
評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)					
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	障害者のための文化芸術ふれあい推進事業費	事業開始年度	H9	事業終了予定年度	
		根拠法令			
		・計画等			

作成者	組織	文化振興課
	職・氏名	専門員 橋岡 千春
	電話番号	076 - 225 - 1372 内線 3847

事業の背景・目的
 障害の有無に関わらず、伝統文化等に親しむことのできる環境の整備をすることで、より幅広い層の県民に石川の文化にふれる機会を提供する。

事業の概要

- 1 事業名 ふれてみるいしかわの文化展
- 2 会場 石川県立歴史博物館
- 3 期間 平成28年12月3日(土)～9日(金) 7日間
- 4 対象 主に障害者の方(視覚障害者や車椅子使用者等)、一般県民
- 5 内容 彫刻展、ミニコンサート 等

これまでの見直し状況

H18:触れることが可能な伝統工芸品の展示

H19: " 歴史資料の展示

H20:朗読観賞会の充実(2回実施)

H21:音楽観賞会の開催

H22:音楽鑑賞会における体験コーナーの実施

H23:来場者が自由に参加できるワークショップを実施

H24:歴史資料等をクイズ形式で展示

H25:県立図書館職員によるおはなしの会(手遊び、パネルシアター等)を実施

H26:県立図書館職員によるおはなしの会(手遊び、ペープサート等)を実施

H27:親子彫刻ワークショップや、ガイドツアーを実施

施策・課題の状況						
施策	文化に親しむ環境づくり					評価
課題	文化に親しむ環境づくり					
	指標	芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	13,500	12,679	11,609	13,200	12,235	
事業費						
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	600	480	400	1,000	1,000
	決算	600	480	400	1,000	
一般財源	予算	600	480	400	0	0
	決算	600	480	400	0	
	事業費累計	25,084	25,564	25,964	26,964	27,964
評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
	事業の有効性					
	(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)					
	今後の方向性					
	(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	音楽堂自主事業費補助金	事業開始年度	H14	事業終了予定年度		作 組 織	文化振興課
		根拠法令 ・計画等				成 職・氏名	専門員 乾 康祐
						者 電話番号	076 - 225 - 1372 内線 3850

事業の背景・目的
 藩政時代から培われてきた邦楽文化と、オーケストラ・アンサンブル金沢に代表される洋楽文化の発信拠点としての音楽堂において、魅力ある多彩な自主事業を実施し、石川の音楽文化の振興を図る。

- 事業の概要**
- 1 音楽堂自主事業基本コンセプト
 - A 優れた演奏家の招聘
 - B 若手・地元芸術家の支援
 - C 音楽ファンの拡大
 - 2 事業内容
 - (1) コンサートホール(13事業)
 - ・オルガンフェスティバル
 - ・ミルオト キクカタチ
 - ・ランチタイムコンサート 他
 - (2) 邦楽ホール(8事業)
 - ・音楽堂寄席
 - ・松竹大歌舞伎
 - ・ふれあい伝統芸能ランド 他
 - (3) 交流ホール(3事業)
 - ・おしゃべりクラシック
 - ・音楽堂室内楽シリーズ
 - ・カルチャーナビ(音楽堂アワー等)

計 24事業

3 補助金額
15,000千円

4 総事業費
174,400千円

うち県補助金	15,000千円
自主事業基金取崩	50,000千円
文化庁助成	44,100千円
入場料・協賛金	65,300千円

施策・課題の状況							
施策	文化に親しむ環境づくり					評価	
課題	文化に親しむ環境づくり						
	指標	音楽堂入場者数				単位	人
	目標値	現状値					
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	265,000	265,158	250,272	206,473	262,241		

事業費						
(単位:千円)		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	17,817	15,847	15,000	15,000	15,000
	決算	17,817	15,847	15,000	15,000	15,000
一般	予算	17,817	15,847	15,000	15,000	15,000
財源	決算	17,817	15,847	15,000	15,000	15,000
事業費累計		94,033	109,880	124,880	139,880	154,880

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 地域文化振興推進事業費補助金	事業開始年度	H2	事業終了予定年度	
	根拠法令			
	・計画等			

作組織	文化振興課				
成職・氏名	専門員 乾 康祐				
者電話番号	076 - 225 - 1372 内線 3850				

事業の背景・目的
現代音楽の作曲や、県民がオーケストラへの親しみと理解を深める事業、ジュニアオーケストラ及びアンサンブル金沢合唱団の振興育成を図る事業などに補助することにより、本県の音楽文化の普及向上を図る。

事業の概要
① 芸術文化創作事業
コンポーザー・オブ・ザ・イヤーとして著名作曲家にオーケストラ・アンサンブル金沢のレパートリーとなる現代音楽の作曲を委嘱し、新しい音楽の創造を図る。(委嘱作曲家:ティエリー・エスケシュ)

② 特別文化事業の開催
バレエやオペラなど、クラシック音楽以外の音楽愛好家も対象とした音楽文化の普及事業や、他のオーケストラとの共演、芸術文化創作事業により作曲された新作現代曲を披露する演奏会を開催する。
・オペラ「蝶々夫人」
日時:平成29年1月22日 会場:金沢歌劇座

③ オーケストラ実践講習会
県内中学生・高校生やアマチュア音楽指導者を対象にオーケストラ・アンサンブル金沢楽団員等による講習会を開催し、本県の音楽水準の向上と人材の育成を図る。

④ ジュニア・オーケストラ育成事業
小学校4年生から中学校3年生までの生徒で構成するジュニア・オーケストラの育成を図り、青少年の音楽資質の向上に寄与する。

⑤ オーケストラ・アンサンブル金沢合唱団育成事業
アマチュアの合唱愛好家を募り、その合唱団の育成を図り、音楽文化の普及に寄与する。

⑥ 新人登竜門コンサートの開催
オーディション:ピアノ部門 審査委員:井上音楽監督 他
演奏会:H28.5.15予定(H27選考:管・打・声楽部門) 県立音楽堂

補助金額 10,000千円 (石川県・金沢市 同額補助)

これまでの見直し状況
※ H17年度から地域文化振興推進事業費補助金と音楽文化普及事業費補助金を統合

施策・課題の状況						
施策	文化に親しむ環境づくり				評価	
課題	文化に親しむ環境づくり					
	指標	音楽堂入場者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	265,000	265,158	250,272	206,473	262,241	

事業費						
(単位:千円)		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	10,700	10,700	10,000	10,000	10,000
	決算	10,700	10,700	10,000	10,000	10,000
一般財源	予算	10,700	10,700	10,000	10,000	10,000
	決算	10,700	10,700	10,000	10,000	10,000
事業費累計		304,400	315,100	325,100	335,100	345,100

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		